

平成 31年
4月7日執行

栃木県議会議員選挙選挙公報

栃木市選挙区

栃木県選挙管理委員会

いちむら隆

岩舟町元町長

たかし

このまちに夢と希望を届けます。

若者に遊び場を！

若者や子どもたちは、遊べる場所を望んでいます。学びながら遊べる環境を整備します。

サッカーで夢を！

J1昇格を目指す地元サッカーチームを様々な形で支援し、かかわる皆様と共に夢の実現に向けた取り組みを行い、サッカーでまちを元気にします。

企業誘致で希望を！

首都圏から近い利便性と、交通結節点の利点を活かし、未来に希望が持てる企業の誘致を積極的に行います。

いちむら隆の プロフィール

- 氏名 市村 隆 (いちむら たかし)
- 生年月日 昭和33年1月24日 61歳
- 学歴 地元岩舟町の小・中学校卒業、栃木県立佐野高校 普通科卒業、東海大学工学部 建築学科卒業
- 主な要職 岩舟小学校 PTA 元会長、岩舟中学校 PTA 元会長、下都賀郡地区小中高 PTA 連絡会 元会長、岩舟町元町長
- 現在 建築設計事務所 取締役



無所属
いちむら隆

たかし

昭和33年1月24日・61歳

とちぎを守る。命を守る。いつまでも、この街で暮らしたい

子どもを守る 子育て支援の多様なニーズに対応することが出来る様、子育て支援施設の充実や小中高一貫教育の推進、それを支える教師の指導力と教育力を向上させる等、夢をつぎ子ども達の未来と笑顔を守ります。

2つことを守る 栃木インター、群馬インター、佐野藤岡インター、そして事業化状況となった那須西方面、マートインターと、4つの窓口を持つ地の利を活かし、インター周辺の産業団地を推進し、先住民のつくり産業や研究機関等を誘致し雇用と経済を守ります。また、本指農業をリードする産地生産の支援拡大と水田、畜産経営の大規模化を促進し、成長産業としての農業を守ります。

3つを又しを守る とちぎメディカルセンターの充実とあわせ、地域医療を支える医師、看護師、介護職の確保を図り、医療・福祉・看護・介護の連携により子どもや高齢者、障がい者達が住み慣れた地域で安心して暮らしている社会保障制度を守ります。

4のちを守る 頻発する災害に対し、早急に対応策への確立対策を実施を進め、災害に強いインフラ整備と官民連携による被災者支援対策により、県民の命と財産を守ります。

魅力を守る ある里に輝く観光資源や地域資源に磨きをかけ、機動的な観光ネットワーク作りと誘客活動により、地域の活力と魅力を守ります。

ひがの義幸 公式ホームページ



左のQRコードからひがの義幸のもとに詳しいプロフィールや活動報告、よしゆきチャンネルなどをご覧いただけます。



自民党 公認

ひがの 義幸よしゆき

昭和33年6月18日生 60才

福祉トータルサポートセンターを生んだ人情派

実は寂しい人情派。そして何より子どもの笑顔が大好きです。過去の施策の一つ「福祉トータルサポートセンター」は、そんな想いから生まれました。「医療」「保健」「福祉」「教育」など一貫した支援サービスが受けられる機関です。それまでバラバラだった窓口を一貫化することにより、個人に寄り添い課題解決に向けた総合的な取り組みを軸に、クオリティライフの向上に貢献しました。

- #### ひがの義幸の経歴
- 昭和62(1987)年 栃木市議会議員初当選(28歳)(当時、全国最年少市議として当選)
 - 平成11(1999)年 県議会議員に40歳で初当選
 - 平成15(2003)年 栃木市長に44歳で初当選(当時、県内最年少市長として当選)
 - 平成19(2007)年 栃木市長二期目再選
 - 平成22(2010)年 栃木市、都賀町、大平町、藤岡町の1市3町の合併を実現
 - 平成27(2015)年 県議会議員14,390票を獲得1位当選
 - 平成28(2016)年 文教警察委員会 委員長
 - 平成30(2018)年 栃木県監査委員

- ◆人情派 ◆ちよと短気な ◆意外と頑固な
- ◆実行派 ◆改革派

- #### ひがの義幸はこんな人!!
- ◆コツコツがんばる ◆努力家 ◆笑顔がかわいい ◆期待にこたえる
 - ◆子煩悩 ◆親子喧嘩 ◆親分肌

とちぎの未来創生に向けて ~引き続き栃木創生を推進します~

豊富な観光資源と「地の利」を活かした観光振興

西方から藤岡まで(とちぎ・渡良瀬湖)、いちご・フルーツ街道で「おもてなし観光」の環境整備を推進します。

とちぎ湖の街、太平山、岩舟山、三義山、渡良瀬湖遊水地、そして、人形山車等、市内各地の観光資源を活かして栃木市の活性化を図ります。

栃木市北部(都賀・西方地区)振興策

東北道都賀西方面スマートICと北関東都賀ICの連携道路網を整備します。

「地の利」を活かした産業団地造成で企業立地を推進します。

栃木地区振興策

90年ぶりの太平山再開発! 第二遊覧道路新設「太平山ランドマーク構想」を推進します。

豪雨時の巴波川治水対策(上流域の田んぼダム・排水管に調整弁設置)

山間地域の防災ダム整備促進

栃木市南部(大平・岩舟・藤岡地区)振興策

豪雨に備え渡良瀬遊水地への排水機場の整備を促進します。

みかもやま公園、とちぎ花センター、若舟フルーツパーク、そして、道の駅「みかも」の連携による観光拠点づくりを推進します。

- #### 日向野義幸は受けて立ちます!!
- 力強い農業の実現に園芸作物の生産拡大
 - とちぎ・渡良瀬湖、いちご・フルーツ街道で観光農業推進
 - 鳥獣被害対策に捕獲の担い手確保と育成に取り組む
 - 外国人受け入れ支援体制の整備
 - 教育・スポーツ振興に学校の指導力強化
 - 道路・河川等の社会資本整備の推進
 - 子育て環境の整備(ようこそ赤ちゃん支援)
 - 防災と減災 得たなし、治水対策は積極的に取り組む
 - 交通事故防止に交通安全施設(信号機・道路標識・橋示)の整備

挑戦!

「愛郷無限」今一番大切にしている言葉です。

栃木で生まれ、栃木で育ち、栃木を愛する。この気持ちで、政治活動を心がけてきました。皆様にはそれぞれの「愛郷」があります。そこにはたくさんの伝統や文化、特性があったはずですが、その豊かな心が育まれた地域とふれあい、世代を超えて、「見て」「聞いて」「伝える」ことの出来る政治を目指すことが、私の使命だと確信しました。

5期15年の市議会議員の経験を活かし、「責任」と「節度」を持って、どこにも負けない夢のある未来を、故郷を、皆様と共に次の世代に繋いでいくことを誓います。

ひとすじに貫く政治に対するこの覚悟を、皆様にお見せいたします。今日まで支えて下さった皆様に対し、感謝と御礼を申し上げ、新たな「平池ひろし」に対し、改めてご指導よろしくお願ひ申し上げます。



自由民主党
平池ひろし

ひらいけ

昭和五十一年一月十七日 四十三歳

平成 31年
4月7日執行

栃木県議会議員選挙選挙公報

栃木市選挙区

栃木県選挙管理委員会

～まさおの約束“輝くとちぎ”をつくります！～

街を創る

新しい発想で地域を活性化させます。

- インター周辺にコストコを誘致します。
- 各地域にある歴史・文化資産を周遊できる観光ルートを確立します。

人を育む

未来に繋がるひとづくりを推進します。

- 国際感覚が身につく学校の開校を目指します。
- 県独自の奨学金制度を強化します。

命を守る

地域医療を充実強化します。

- メディカルセンターの救急体制を充実します。
- 生涯を通じた歯科検診と口腔ケアを充実します。

憩い潤す

高齢者に憩いの場所を提供します。

- グラウンドゴルフなどの施設を整備し、高齢者の生きがいづくりを応援します。
- 高齢者と子どものための憩いの場所を提供します。

まさおのプロフィール

○家族構成
二人娘は巣立ち、妻、長男との3人暮らし

○住所
栃木県栃木市大町33-40

○学歴
昭和49年 栃木市立第一小学校卒業
昭和52年 栃木市立栃木南中学校卒業
昭和55年 栃木県立栃木高等学校卒業
昭和59年 早稲田大学商学部卒業

○政治活動
平成11年 栃木市議会議員
平成15年 栃木市長選初挑戦
平成19年 栃木県議会議員
平成23年 栃木県議会議員(2期目)
平成27年 栃木市長選再挑戦
平成31年 栃木県議会議員再挑戦

**コツコツ
トコトン**



自民党
ことより昌男

昭和36年5月10日・57歳

まさお

「頑張る」ではなく「やります」を掲げて

夢

ふるさと栃木市に住む方々が、住んでいて良かったと思えるような、日本中に誇れるような住民福祉の実現が増山たかゆきの夢であり使命です。住民福祉とは皆様の生活の幸せだと考えます。

希望

大手教育研究機関の調査では、日本の青少年はこの国の将来に希望が持てないとの調査結果が出たそうです。海外の同世代と比較して半分にも満たないそうです。増山たかゆきは、子供達が将来に希望の持てる政治を実現します！

情熱

自覚と責任を持って継続していくには、心の奥底から湧き上がるものがなくては出来ません。増山たかゆきを突き動かす原動力は「経世済民」の志と消えることのない政治への「情熱」。汲めども尽きぬ想いは誰にも負けません！

**経世
済民**

世の中をよく治めて人々を苦しみから救うこと。またそうした政治をいう。「経済」の語源。増山たかゆきの信念です。今後も私利私欲に捉われず貫いてまいります。



自由民主党

増山たかゆき

昭和53年5月27日(40歳)

ましま

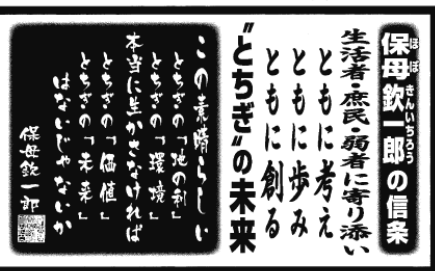


「清廉潔白」をつらぬく。揺るがない「信念」!

非自民の代表！生活者・庶民・弱者の代弁者

保母欽一郎は目指します。

しがらみのない
市民に寄り添う
クリーンな政治



“溢教創新”
県議3期 無所属 市民派

とちぎを守り、未来を創る。
栃木創生
●ひたむきに政治一筋三十年
●国政二十年の経験と人脈

保母欽一郎「栃木創生」克服戦略

- 1 近隣市町との“地域連携・ブロック化”の促進
「行政サービスと集落機能」の維持向上 戦略！
- 2 住むなら“とちぎ”の促進
東京近郊からの「移住・定住・流入」戦略！
国策を活用した「民間活力の導入と規制緩和」戦略！
- 3 来るなら“とちぎ”の促進
国内外からの「観光誘致・企業誘致」と「農業・工業団地」戦略！
- 4 便利な公共交通“とちぎ”の促進
高齢者「免許証返納」・「身障者」に優しい公共交通 戦略！
「近隣市町」と「駅・集落」を結ぶ公共交通 戦略！
全てに使える「通勤・通学・買い物・通院・観光」交通 戦略！
- 5 豪雨災害に強い“とちぎ”の促進
河川の「堤防強化」と「堆積土の除去」戦略！
「内水対策」と「自主防災組織」の強化 戦略！



無所属
保母欽一郎

昭和34年11月29日生(59歳)

ほぼ きんいちろう